

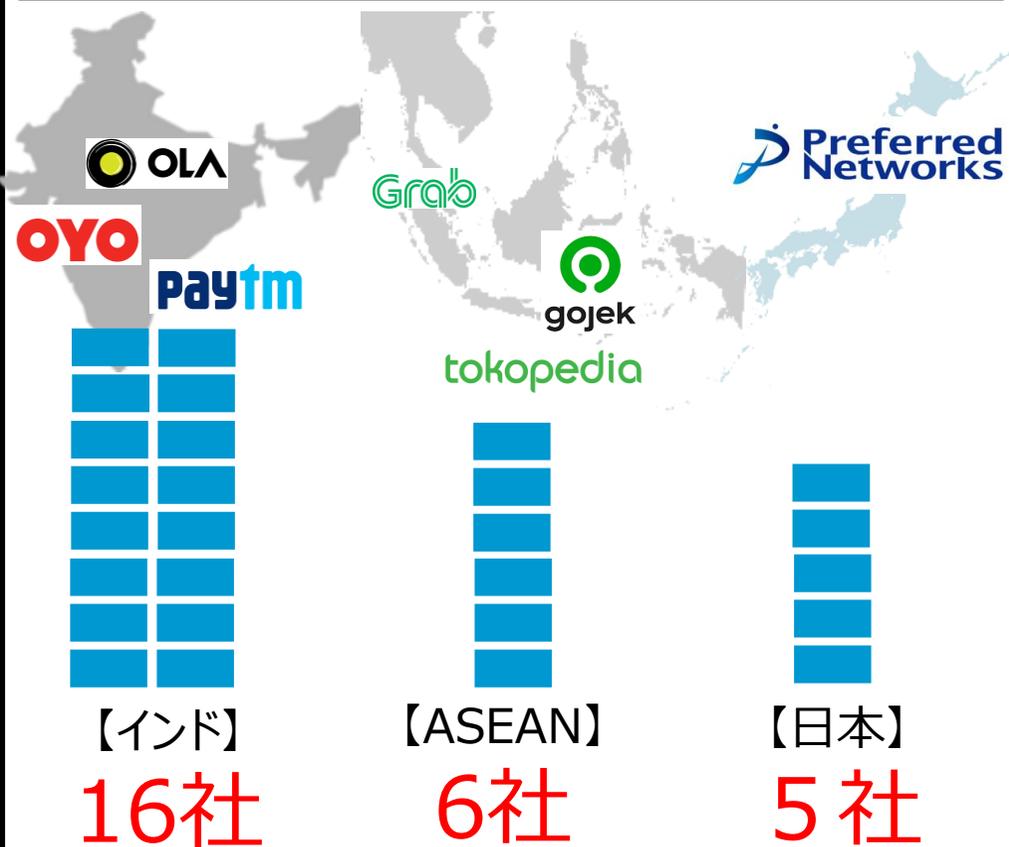
# **新興国企業との共創による新事業創出 ～アジア・デジタルトランスフォーメーション(ADX)～**

**令和元年 9月17日  
ADX政策推進チーム**

# アジアで急速に進むデジタル・エコノミー化

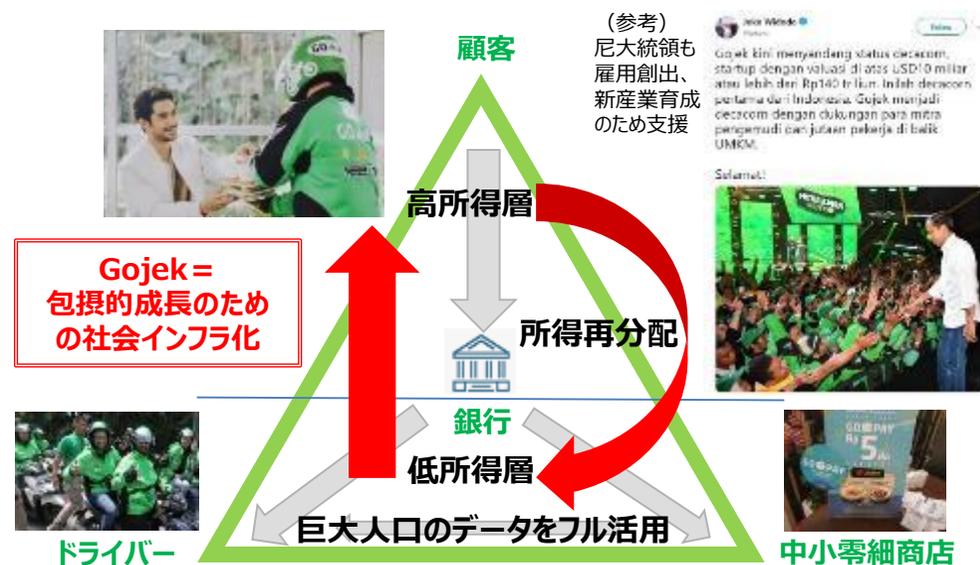
- 東南アジアやインドでは①社会システムの未発達が見られ、②デジタル技術の活用による社会課題解決に対する「ウォンツ」が強く、分野によっては日本に先行。
- デジタルソリューションが、包摂的成長など社会課題の解決につながることを実証され、地域の経済社会構造を変革する大きな原動力に。（創業からユニコーン化まで平均5年）

## ASEAN・インドで急増するユニコーン企業 (多くはB to Cプラットフォーム)



## 尼・Gojekが目指すInclusive Growth

- ・ライドシェア以外にも、あらゆる生活サービスを提供する「スーパーアプリ」へと急速に発展。
- ・ビッグデータの力で①ドライバーの銀行口座開設や②零細業者の低利融資等を実現。



# アジア・デジタルトランスフォーメーション（ADX）パートナーシップ構想

- 「**ADXパートナーシップ**」：東南アジアやインドに存在する、
  - ①社会や企業の抱える**課題の深さ・インパクト**
  - ②それをデジタル技術で解決したいという**強い欲求**（社会インフラ化する新たなビジネスエコシステム）
  - ③**ベンチャーフレンドリー**な市場環境（テックに寛容、豊富な個人データ（スマホ普及）、規制の未整備）を**商機**と捉え、
    - 現地で進むデジタルイノベーションに**日本の資金、技術・ノウハウ、事業ネットワークを結合**
    - 現地企業を対等なパートナーとして、**新たなビジネスモデルを「共創」**（投資により参画）⇒アジアを舞台とした**大企業・新興ベンチャー間の協創**による**クロスボーダーイノベーション・新産業創出**
- 「**日本の構造改革**」⇒**産業構造転換スピード加速化**（「黒船」として日本のデジタル変革の起爆剤に）  
「**アジアにおける日本の産業プレゼンスの変革**」（製造拠点型⇒サービス・ソリューション提供型）  
「**投資とルールの一體的推進**」（東南アジア6億人、インド13億人のデータガバナンス構築）へと繋げる。

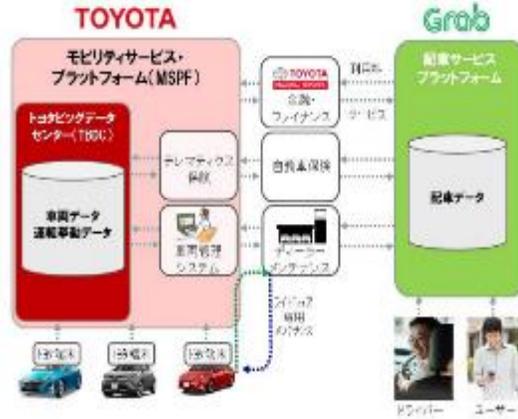


# 日本企業の動き

- 新たなビジネスを展開する**アジア企業との戦略的連携**を模索する動きあり。
- 本社から独立した「**出島**」機能を**アジアで高める**動きも。

## モビリティ：トヨタ、Grab（星）

- 2018年6月、トヨタはGrabに約1100億円出資。
- Grabレンタカーへの走行データ連動型自動車保険の提供などの協業を開始。



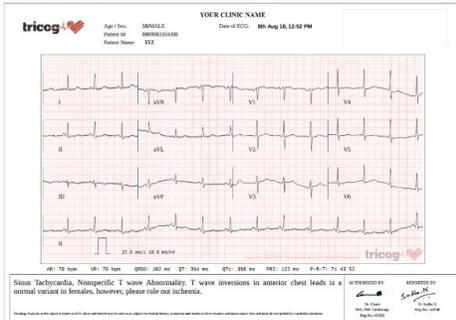
## 物流：オープンロジ、Tokopedia等（尼）

- 2018年4月、物流プラットフォームを運営する日本スタートアップのオープンロジはTokopedia等とシステム連携。ジェットロが実証事業で支援。



## ヘルスケア：フクダ電子、Tricog（印）

- 心電図のAI解析をするTricogは東大UTEACから出資を受け、世界的に評価されるフクダ電子の心電図機器を活用。
- 印を中心に、尼、馬、ケニア等12か国で本格稼働及びPOCを実施。

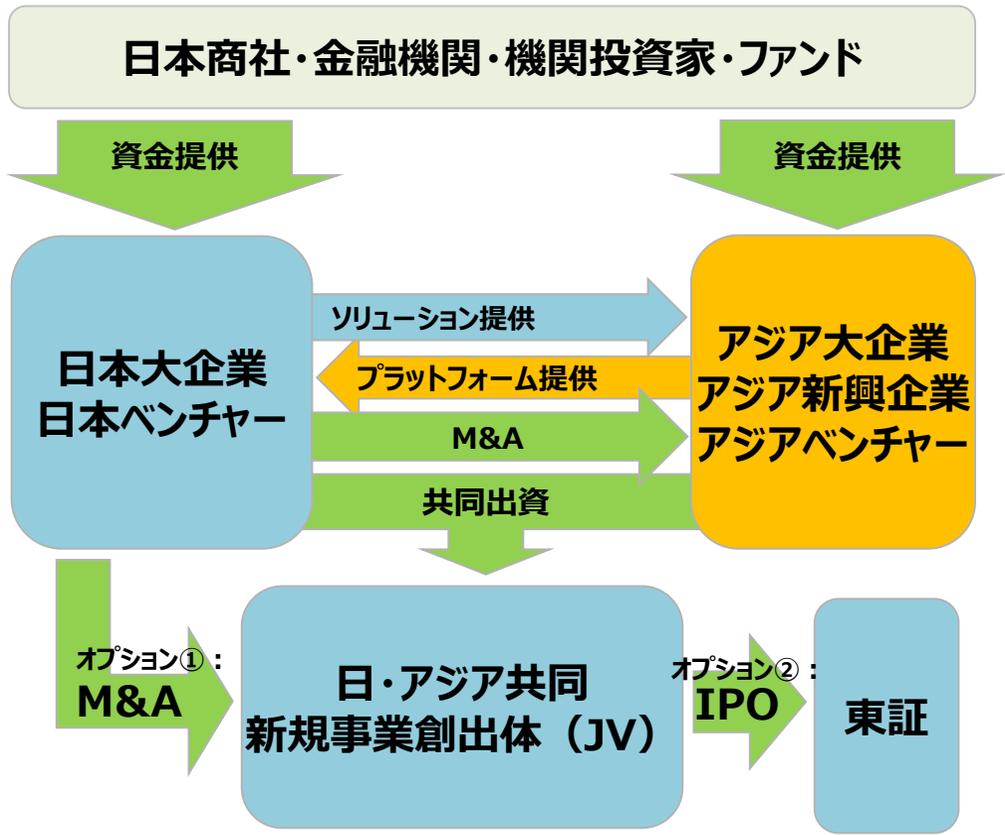


## ファイナンス：クレディセゾン、Grab（星）

- 5年前から取締役を星に駐在させ、現地に一定の決裁権限移譲（**出島**）の結果、迅速にGrabへの出資参画を決定、レンディングノウハウを提供。
- 越、尼でのスタートアップ出資・JVも実現。



# 日本企業及びアジア企業からの声



## プレイヤー

アジア VC

日本企業の投資は **“too little too late”**。スピード、スケール、ステルス の3Sが全て不足。

日本ベンチャー

他国企業は **2~3回**の面談ですぐに投資判断。

## ネットワーキング

日本ベンチャー

知名度のないスタートアップが海外で提携先開拓するのは至難の業。外部の支援が足掛かりに。

アジアユニコーン

当社は物流・モビリティ・バリューチェーンシステム構築で日本企業との協業に関心があるが、日本企業と関係構築が出来ていない。

## ファイナンス

アジア・日本VC

日本・アジアのスタートアップが求めているのは長期のグロースキャピタル。

アジアVC

早期のスケールアップのための資金調達ができる特別市場が必要。

## ご議論いただきたい論点

- <プレイヤー>
  - ✓ グローバル展開を目指すベンチャー・大企業の抱き起し
  - ✓ グローバル・オープンイノベーションに対応した組織運営と人材への転換
- <ネットワーキング>
  - ✓ アジア・日本間のプレイヤーの相互理解と協業機会の拡大
  - ✓ イノベーションエコシステム間の連携強化

- <ファイナンス>
  - ✓ グローバルなグロース投資を行う機能の強化
  - ✓ 日本の資本市場の改革
- <データガバナンス>
  - ✓ アジアにおけるData Free Flow with Trust (DFFT)確立